

## 郷土史誌『はづ』第4集「郷土の宝 羽津用水」発売開始

羽津郷土史と民俗研究会

この度、『はづ第4集 郷土の宝「羽津用水」』が完成し、5月1日より発売開始となりました。羽津用水については、ご存じない方もいらっしゃると思いますが、この機会に是非お買い求め頂き、郷土の歴史に親しんで下さい。

【発売場所】まち協事務局（羽津市民センター2階）又は羽津郷土史と民俗研究会会員を通じて購入可能です

【定価】 1,300円

## 女子力アップ講座

女性委員会

3月14日(木)、「所作美人講座」を開催しました。講師の清水典子先生は、きもの学院の講師として、現代着付けやマナーの指導、ブライダル関連の教育実践など、幅広く活動されている方で、当日は着物姿でお越しいただき、身をもって美しい立ち姿を教えてくださいました。また、先生は美容にも精通しておられ、参加者全員が、先生がお持ちくださった香りの良いハンドクリームを塗り、手に潤いを与えてから、指先の仕草、特に中指を添えることを意識すると美しく見えることなど、日々のちょっとした仕草で印象が変わることを、実践を交えながら、おもしろおかしく教えていただきました。参加者からも「とっても楽しく学ぶことができました」との感想が多く、非常に好評でした。

4月10日(水)、「やさしいダンス&ストレッチ講座」を開催しました。28年フィットネスインストラクターとして活躍し、羽津地区の盆踊りなど深くお世話になっている油田直美先生の講座も4回目となりますが、毎回人気で今回は22名参加頂きました。飛び切り明るいお人柄で丁寧に教えていただきました。旬の朝ドラ東京ブギウギの曲に乗りタオルを小道具に使用しました。皆さま笑顔いっぱい楽しく踊って見えました。ウォーミングアップはリンパの流し方でゆっくり体が温たまり後半はマットの上でストレッチ。日頃使っていないところを伸ばしたりしてリラックス出来ました。

## 4月下旬から5月の行事予定

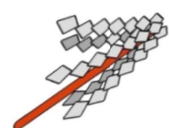
4月20日(土)	タケノコ掘り	5月12日(日)	ベビーマッサージ教室
4月22日(月)	バランスボールde産後骨盤ケア	5月17日(金)	さんきゅう食堂
4月26日(金)	さんきゅう食堂 子供食堂	5月20日(月)	女子力up講座「和菓子作り」
4月27日(土)	無料塾	5月21日(火)	バレトン教室
5月 6日(月)	まち協理事会	5月24日(金)	さんきゅう食堂 子供食堂
5月10日(金)	さんきゅう食堂 子供食堂	5月25日(土)	無料塾
5月11日(土)	無料塾	5月27日(月)	バランスボールde産後骨盤ケア
		5月31日(金)	さんきゅう食堂

## 編集後記

昨年度は、はやぶさ2模型展示という分不相応ともいえる大事業に取り組みましたが、今年度も子供達に夢を与えるような事業を行いたいと構想を練っているところです。従来からの事業も、楽しんでいただけるよう工夫していきたいと考えています。ご期待下さい。 広報委員会より

## 有料広告

羽津の氏神様に お参りを



車祓 安産 初宮詣 厄除  
七五三 地鎮祭 入居祓

祓之宮  
**志氏神社**  
大宮町14-6  
TEL 059-331-0620



# 羽津だより

発行者  
羽津地区まちづくり推進協議会  
広報委員会  
広報No.126 令和6年4月発行  
E-mail koho@hazu.org

## 第4回額突山市民緑地まつりを終えて

総務委員長・藤井靖裕

皆さん4月に入って新しいスタートの季節です。羽津地区まちづくり推進協議会も新年度の行事に向けてスタートを切り始めます。その中、先月の下旬に行われました額突山市民緑地まつりについて少しだけ話をさせていただきます。

今回で4回目となりました額突山市民緑地まつり。当初は里山づくりの一環で額突山を整備し、羽津地区の皆さんに自然とふれあう場所がこんなに近くにあることを知ってもらう為に始めたイベントで、第一回から竹灯りをメインに行ってきました。最初はプロの方が展示した竹灯りに魅了され、2回目は羽津地区の皆さんが作成した竹灯りを展示しました。初めての展示であったので、展示の仕方(魅せ方)に苦労はしたものの良い展示ができたと思っています。3回目は竹灯りの展示もそうですが、もう少し趣向をこらしたイベントにするべく、額突山市民緑地の敷地にイベント用のステージを設置。そしてそのステージを使用して2日間に亘り演奏会が盛大に行われました。

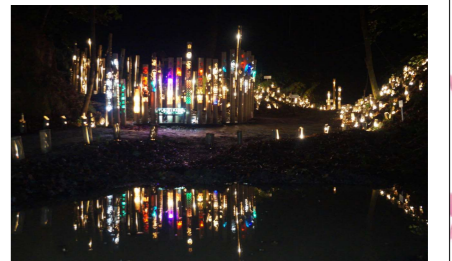


さて、3回目までは拡大路線で市民緑地まつりも2日間、竹灯り点灯時間も1週間以上というんな意味でイベントを盛り上げる仕組みづくりをしてきた中、今年は、祭りを1日のみとすることになり、さあ、どのようなイベントにしようかと以前のデータ(画像および資料)をみていたら、なんと、全ての画像で映しだされた方々は皆傘をさし寒そうな姿で、



市民緑地まつりに来られていた事を改めて確認させられました。私としては、何とか今年こそは雨男を返上し、雨風がない穏やかな日の中で出来るように、イベントに取り組んできましたが、開催日が近づくにつれ、周囲の仲間からは「また雨だね」などと言われ、自分でもどうしようもない事と分かっているものの、悔しい思いをしながら当日を迎えることに。しかしながら、今の天気予報の精度は抜群で、予報通り朝から雨に降られ、ステージに参加していただいた皆さんはじめ、イベントの手伝いに参加していただいた方には大変申し訳ない思いで一杯でした。案の定、周囲からも「今年も雨だったね」などと茶化され、心の中では「なんや」と自問しながら時間だけが過ぎていきました。

イベントも終盤になり、朝からの雨もあがって辺りが暗くなってきたころ、予想もしなかった景色が目飛び込んできました。なんとその景色は、合わせ鏡の様に池の水面に映った竹灯りの映像だったのです。その美しさは素晴らしい一言で、はじめて、「雨を降らせたことに感謝します」とのコメントもいただき、イベントの最後になってようやく今回のイベントに参加できた気分になりました。



自分ではどうしようもないことはいろいろあるかと思いますが、この羽津地区まちづくり推進協議会のメンバーは、そんな悩みすら吹き飛ばすような前向きでポジティブな面々が充実しています。今年も沢山のイベントを思案中です。そしてその各イベントを通じて羽津地区のみなさんと一緒になって奇跡の1枚に辿り着きたいと思いますので、今後とも活動へのご理解とご協力、並びにご指導の程、宜しく願い申し上げます。

## ふれあいいきいきサロン

高齢者福祉部会

さろんde志氏我野では羽津地区全域を対象とした介護予防サロンやカフェサロンを開催していますが、各自治会規模で介護予防サロンやカフェサロンを開催しているところもあります。「ふれあいいきいきサロン」といい、今年度は7か所で10サロン(さろんde志氏我野を除く)が開催されます。ご興味がある方は開催日にサロンをお訪ねください。

サロン名	開催場所	開催日時
ふれあいサロン「仲良し会」	羽津山町集会所	毎月第1土曜10時～
いきいきサロン「笑みの会」	旧「電化のヒロセ」店舗	毎月第3木曜10時～
はづ夢	未定	不定期(2か月に1回)10時～
防災&大正琴カフェ「止まり木」(カフェサロン)	防災&大正琴カフェ「止まり木」	毎週木・金曜12時～
防災&大正琴カフェ「止まり木」(大正琴)	防災&大正琴カフェ「止まり木」	毎週木曜11時～、金曜14時～
防災&大正琴カフェ「止まり木」(百歳体操)	防災&大正琴カフェ「止まり木」	毎週木曜14時～、金曜11時～
羽津いかるがお達者クラブ	いかるが町集会所	毎週月曜13時半～
かすみ手芸部	さろんde志氏我野	毎週木曜10時～
山手ふれあいサロン	山手町集会所	毎週土曜13時～
山手すまいるさろん	山手町集会所	毎月第2・4火曜14時～

## シナリオのない防災訓練

羽津地区連合自主防災会

従来の防災訓練では、予め決められたシナリオに沿って進行するという形が一般的で、訓練参加者はシナリオに決められた(部分的な)役割を遂行するだけというものでした。これではいざ災害が発生した時に臨機応変に対応できるのか疑問です。今年から連合自主防災会の体制が変わったのを機に、これまでの形ばかりの訓練を廃して、もっと実践的な訓練を行うことになりました。

訓練は、風水害と地震・津波の二つの災害に分けて、参加者が能動的に判断・行動できる気概と能力を身に付けてもらうことを主眼に置いて行いました。判断するためには情報が必要ですので、まずは防災情報を収集し活用する方法を事前に学習してから、風水害に対しては図上訓練、地震・津波に対しては実動訓練を実施しました。

図上訓練では避難行動要支援者をどのタイミングで避難させるか、映像を見ながら考える訓練も行いました。

実動訓練は、南海トラフ地震が発生して地区内の震度6、津波到達時間70分という想定のみで、シナリオは一切なく参加者が自ら考えて行動してもらう形で実施しました。一部で、避難所に到着したものの何をしたらいいのかわからず、徒に時間を浪費したところもあったようですが、概ねは自治会長を中心に分担・協力しながら避難所開設ができていました。また、避難行動要支援者の個別計画に沿った支援訓練も織り込みましたが、これには民生委員の皆さんの協力を得ました。今年からは消防団も参加してくれるようになり心強いサポートが期待できます。

今回、シナリオのない訓練を行ったことにより、事前にマニュアルを予習して不明点を事務局に質問してくる方もあり、参加者の意識が変わってきたなと感じています。大きな災害が発生した時は、連合自主防災会も(幹部が被災するなどして)機能しないこともあり得ます。このような訓練を続けていくことで、そうした非常事態でも避難所に集まった住民が協力して災害に対応できるようになります。

新年度もこうした方向に沿った活動を展開していきますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

## 有料広告

ご入学おめでとうございます!

# パン工房 Blooming



### から揚げサンド



火～金・第2・4土曜日  
羽津中学校 おとなり  
Tel 331-3371 9:00～17:30

## 羽津の団体紹介

### 消防団の活動について

四日市市消防団羽津分団

消防団は法律に基づいて市町村に設置が義務付けられている消防組織で、団員は非常勤の特別職地方公務員に位置付けられています。火災の時に消防士と協力して消火活動をしたり、地震や台風の時に地域の方の避難誘導や救助活動をしたりします。多くはないですが手当が支給されます。火災や訓練、自治会の訓練などの指導に出動した場合は出動手当てが加算されます。

四日市市では市内24地区に分団が置かれおり、羽津分団もその一つです。各地区に置かれていることとほとんどの団員が地元住民であることから、災害時などには地元を知悉していることを生かした救助活動などに力を発揮することが期待されています。

本来業務の火災などで出動するのは羽津地区内だけでなく、海蔵・橋北・富田・富洲原地区への応援出動も行っていますが、出動回数は年間10回ほどです。台風や豪雨などの自然災害で警報が発令されると待機命令が発令され集合します。状況に応じて防潮扉を閉めたり地区内巡回を行ったりします。平素は、毎月第1・第3日曜日に集まって消防車や消火栓の点検を行ったり、訓練を行ったりしています。自治会での訓練に参加を要請されることもあります。できればこの集合日に合わせていただくと助かります。

毎年1月に開催される消防出初式をご覧になった方もいらっしゃると思いますが、あの出初式ではしご乗りを演じる乗り手を毎年、複数名の羽津分団員が務めています。

全国的な問題として、かつては自営業を営んでいる団員が多かったのが、近年は会社勤めをしている団員がほとんどで、平日の昼間に出勤しなければならなくなっても人数が確保できないという状況になっています。羽津分団も例外ではありません。昼間に動ける団員を増やしたいところですが、なかなか願うようにはいきません。

羽津分団の定員は22名ですが、現在1名欠員となっています。団員募集中ですので、これから何かを始めたいと考えている方、地元へ貢献したいと考えている方は、四日市市消防本部消防救急課地域安全係(Tel 356-2005)又は羽津地区市民センター(Tel 331-4565)までご連絡ください。入団資格は、年齢18歳以上で四日市市内に居住、勤務又は在学している方で、はしご乗りをやりたいという方も歓迎です。

## まち協役員リレー随筆

### 「さろんde志氏我野」に関わって

さろんde志氏我野運営委員長・渡辺房之

さろんde志氏我野開所から八年、色々な人との出会いがあり充実した日々を過ごさせて頂きました。その中で皆様とのふれ合いで忘れられない人々にめぐり合いました。

開所間もない頃、老夫婦でさろんに来場され、ご主人は車椅子を押し、奥様が付添い、ほとんど会話もなく静かにコーヒーを召し上がって帰られる日々でしたが、半年を過ぎた頃から、杖について歩いて来られる様になり少しずつ会話も増えていきました。その後は水曜日の午後の講座では、英語を交えて講師に返答されたり、大きな声で歌を歌われたり本当に楽しい時間を過ごしていただき、さろんの目的(期待効果)役割の一步になりました。

「ちびっこカウボーイ」羽津北小学校の高学年の男女8人が春・夏・冬休みに慰問に来てくれ、寸劇、クイズ、歌唱、ダンスと元気一杯に躍動し来場した、おじいちゃん、おばあちゃんの中に入り手をつないだり、茶摘歌で手合わせしたりして和やか雰囲気です孫とのふれ合いを中学卒業まで続けてくれました。さろんの目的、多世代交流を実践してくれました。高校生になった彼、彼女たちに再会したいものです。

女子高生のSさん。彼女の学校の先生から「ボランティアに参加したい生徒がいますが受け入れていただけますか？」そして彼女が来てくれました。黙々と緊張しながら接客、講座の補助を行いながら慣れ親しんでくれました。あるとき講座に空きが出来、彼女に何か出来ないか聞いたら「やります。」と簡単な手話を伝授してくれ、手話をしながら歌も歌ってくれました。2年間通ってくれ、その後輩達も一年半、ボランティア活動に参加してくれました。現在も子供食堂の高校生諸君、無料塾の大学生、ピヨピヨの大学生、若い力に助けられています、ありがとう。

皆さん、さろんde志氏我野に遊びに来ませんか、ボランティアに参加しませんか。待っています。